

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府全域、京都市、神戸市、奈良市及び和歌山県北部地域とする。

2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法

質問はスクーリング時に講師への質問及び課題提出時に質問シートによるものとする。

添削担当講師：別添カリキュラム参照

電話番号 06-6396-8781 (受付時間 午前9時半～午後6時半)

ファックス番号 06-6396-8782

メールアドレス なし

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 18階

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回に分けて配布する。

なお、課題は3回分まとめて教材配布(自宅郵送)時に合わせてお渡しし、オリエンテーション時に取り組み・提出タイミングについてご説明。

課題の提出は、6回目・9回目・12回目のスクーリングの際に行う。

5 通信学習課題

- ① 課題種類数 3種類
- ② 出題形式 A課題 択一形式24問、記述式6問 全30問
 B課題 択一形式21問、記述式6問 語群選択3題(15問) 全42問
 C課題 択一形式19問、記述式6問 語群選択5題(25問) 全50問
- ③ 出題範囲

科目番号	科目名	項目名	選択問題	語群選択	記述問題	
2	介護における尊厳の	自立に向けた介護	6		1	5
3	介護の基本	介護職の職業倫理	1	1(各5問)	1	3
		介護における安全の確保とリスクマネジメント	3		1	
		介護職の安全	2		1	
4	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	医療との連携とリハビリテーション	2	1(各5問)	1	7.5
		障がい者総合支援制度およびその他制度	5		1	
5	介護におけるコミュ	介護におけるチームのコミュニケーション	4	1(各5問)	1	3
6	老化の理解	高齢者と健康	5	2(各5問)	1	3
7	認知症の理解	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	3	2(各5問)	1	3
		認知症に伴うことからの変化と日常生活	2	1(各5問)	1	
		家族への支援	2		1	
8	障がいの理解	障がいの基礎的理解	2		1	1.5
		障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的	4		1	
9	ことからのしくみと生活支援技術	介護に関することからのしくみの基礎的理解	4		1	12
		介護に関することからのしくみの基礎的理解	5		1	
		生活と家事	6		1	
		快適な居住環境整備と介護	4		1	
		死にゆく人に関連したことからのしくみと終末期介護	4		1	

6 評価基準

70点以上を「合格」とする。

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、再度添削課題を配布する。

なお、再提出日は、発送日から起算して1週間以内とする。

7 通信添削業務受託事業者

- (1) 自社で実施する。